

(様式 1-3)

福島県楡葉町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	コンパクトタウン（商業ゾーン）整備事業	事業番号	(6)-44-3
交付団体	楡葉町	事業実施主体（直接/間接）	楡葉町（直接）		
総交付対象事業費	158,980（千円）	全体事業費	158,980（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
<p>楡葉町復興計画＜第二次＞の土地利用計画に基づき、町民、町内事業者の暮らしの再生と新たな居住を促進するため、双葉郡と共に歩む楡葉町の復興拠点の実現を目指す、コンパクトタウンの形成。</p> <p>【基本方針 1】歩いて暮らせる集約型のまちづくり 【求められる機能】ワンストップ型の生活支援拠点 【施設整備】医療・福祉・商業・住宅施設用地の造成</p>					
事業概要					
<p>町の復興拠点の中心街区と位置付けるコンパクトタウン内の商業ゾーンについて、測量調査設計及び用地取得を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・測量調査設計業務委託 35,095 千円 A=3.6ha・用地取得 123,885 千円 A=30,216 m² <p>【楡葉町復興計画＜第二次＞】 第二章 復興の進め方 2. 復興を目指す新たな土地利用 2-2) 土地利用計画 (1) 新しい住まいの確保と街並み形成 ②新たな街並みの形成 コンパクトなまちづくりの核として、国道 6 号、中満・天神岬線に沿って、商業を始めとする日常生活のサービス機能や住宅などを集約し、利便性が高く、賑わいのある新たな街並みを形成していきます。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 27 年度></p> <ul style="list-style-type: none">・測量調査設計業務委託・用地取得					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>医療・福祉・商業施設及び住宅団地を整備することにより、安心かつ利便性の高い暮らしが可能となり、帰町の促進が期待される。また新たな住民の確保や既存・新規商工事業者の出店促進が見込まれる。</p>					

関連する事業の概要

コンパクトタウン内において整備予定の事業

- ・ 防災集団移転促進事業：住宅団地 1 戸、災害公営住宅（津波被災者用） 1 5 戸
- ・ 災害公営住宅整備事業：災害公営住宅（地震被災者用） 1 0 7 戸
- ・ 福島県仮設診療所整備事業：予定敷地面積 2, 0 0 0 m²

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--